

簡易郵便局を訪ねて 92

お客さまへの声掛けを大事にし、地域に寄り添う簡易郵便局

湯谷簡易郵便局（愛知県新城市）

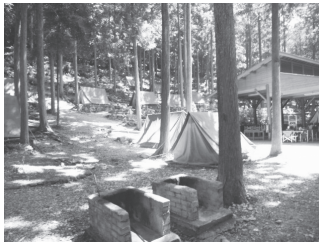


局長
山本今朝義

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。

当局は、愛知県東部の豊川中流域に沿う新城市の東に位置し、国道151号線沿いの能登瀬地区八十戸余りの集落にある簡易郵便局です。

この地域は天竜奥三河国定公園の区域内にあり、「愛知県民の森」が局から三キロ程の所にあり、散歩等にご利用しています。また、徳川家康ゆかりの鳳来寺東照宮、湯谷温泉等が近くにあり、当局の風景印の意匠にもなっています。



愛知県民の森キャンプ場

印の押印依頼は主に郵便で

送られて来ます。今でも依頼が毎週途絶えたことはありません。

受託者を始めて今年の五月で八年目に入りました。六十歳の退職の年に、知人の簡易郵便局長から「簡易局の受託者に応募したらどうか」との誘いを受けました。

近隣郵便局長、最寄りの簡易郵便局長からも勧められ迷いましたが、簡易郵便局の申請書類を提出しました。三年後に開局の許可が届き、開局した際に戸惑わないよう三年間再雇用を続けた後、今日に至りました。

開局して驚いたのは、郵便局回りを楽しみに大勢の方が各地から訪れることです。皆さん十円、百円、千円ほどの預入をし、通帳のその傍らに簡易郵便局名の押印を希望されます。

定年退職を機に夫婦の共通の趣



湯谷簡易郵便局外観

味として始めた方が多いですが、現役の中高年、若者も多く幅広い層に人気があります。ぶつぎらばうな方もいますが、こちらから「遠くから見えましたか」と声掛けをしますと、打ち解けていろいろ話が盛り上がります。なかでも携帯用の二つ折り自転車で、すでに二万三千局余りを巡回した方には敬服しました。

令和四年二月に近隣郵便局が廃局になる際には、各地から大勢の人が「局名印」を求めて集まり、そのついでに当局にも足を運んでくれました。

当局利用者のほとんどは高齢者で、以前から印鑑ではなく暗証番号の利用が便利で安全であることとをわかりやすく説明しお勧めしたところ、今では多くの方がキャッシュカードの方が楽だと思っています。



窓口の様子

るようです。今年一月から現金での払込の場合に手数料が必要になります。

なりましたが、一部の方を除いてすんなり移行できたように思います。

当局の大部分のお客さまは年金受給者で人生の先輩たちです。その元気なお年寄りの方々に親切でわかりやすいサービスを提供し、皆さんにとって居心地の良いと思われる場所を提供すべく日々精進していきたいと思っています。

住所 〒41-0008 愛知県新城市能登瀬大道西八八―

